



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41

TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699

URL:http://www.mokusankyo.jp

E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 年頭のご挨拶 木産協理事長 | 4. 再造林推進機構スタート |
| 2. 新年のご挨拶 森林ノミクス推進監 | 5. 森林環境税創設 |
| 3. 新年のご挨拶 木産協副理事長 | 6. 「県産積み木」プレゼント |



1 年頭のご挨拶

山形県木材産業協同組合 理事長 阿部 昭

謹んで初春のお慶びを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願
いいたします。

「小雪」に合わせたの早い冬将軍の到来。ここ数年続いた暖冬は望
めないようです。大雪の準備を怠らないようにと思いますが、何事
も慣れからくる慢心を切り替えるになかなか容易ではありません。
それでも山形では大きな災害もなく秋の収穫が叶い、自然の恩恵に
改めて感謝するばかりです。

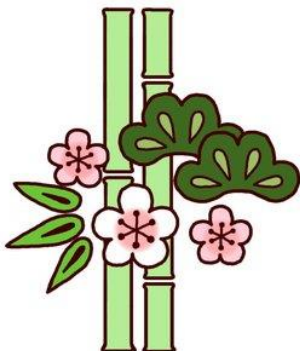
さて、昨年は皆様の協力を得て多くの事業、活動を行うことが出
来ました。林業まつりなどの継続事業はもちろん、地域材利用拡大
支援事業、県原木流通協議会、県林工連携コンソーシアム設立、県
再造林推進基金制度の発足等々が新たに加わりました。そのような中、当組合にとって大変
嬉しいニュースが二つありました。

一つ目は前理事長沖田純夫氏、庄内田川前理事岩浪春吉氏が川村造林記念賞を受賞されま
した。長年の業界発展に寄与された功績が認められたものであり、会員を代表して敬意と御
祝いを申し上げます。なお今回、会員より製材関係者二名同時に選ばれたことは過去に例が
なく、団体としても大変名誉ある受賞となりました。両氏におかれましては益々のご活躍と
ご指導をお願い申し上げます。

二つ目は「羽黒高等学校」新校舎が七月に林野庁長官賞を受賞
し、その受賞記念の研修会を開催出来たことです。三年前の南陽
文化会館に続いての大変名誉ある受賞となりました。

今年は「戊戌年」。実りを刈り取る、結果が出る年とも言われ
ています。消費増税一年前、森林環境税等々変化続ける森林環境
はどんな新たなボールを投げかけてくるのか。皆様の力添えを励
みに一日一日を重ねていきたいと思っております。今後とも継続
したご理解ご協力をお願い致します。

結びに、会員皆様のご隆盛、ご健勝を心よりお祈りいたします。



2 新年のご挨拶

山形県農林水産部森林ノミクス推進監 安達喜代美

平成 30 年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。

皆様には、日頃より、本県の林業・木材産業施策の推進につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は、本県の林業・木材産業界にとりまして大きな節目となる「山形県の豊かな森林資源を活用した地域活性化条例」、通称「やまがた森林ノミクス推進条例」を制定し本格的な取り組みが始まった年となりました。

特に、おいしい山形空港の木質化への支援や、しあわせウッド運動のスタートとして、県内の幼稚園等へ積木の贈呈を始めるなど、貴組合の絶大な協力のもと県産木材の率先利用に大きく動き出した 1 年でした。

県といたしましては、「やまがた森林ノミクス」の実現を図るため、貴組合と連携しながら、様々な施策を効果的に推進し、今後とも、林業・木材産業の活性化に向け、鋭意取り組んでまいりますので、皆様のより一層の御理解・御協力をお願い申し上げます。

結びに、今年一年が皆様にとって希望あふれる佳き年となりますよう心から祈念申し上げます、新年の御挨拶といたします。



3 新年のご挨拶

山形県木材産業協同組合副理事長 遠田勝一（素材部会）

明けましておめでとうございます。組合員の皆様には益々ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の衆議院選挙で自由民主党が大勝し、安部政権は戦後で最長に近い長期間国家運営を担うことになりました。アベノミクスの景気刺激策、低金利政策等により上場企業は軒並み業績が回復し、日経平均株価も上昇を続けております。

県内では、県主催による「やまがた森林ノミクス」セミナーが開催されるなど、官民一体となつての業界の振興が図られており、厳しい経済環境の中ではありますが本業界には追い風がふいております。(株)鶴岡バイオマスを始めとする木質バイオマス発電所の需要増、協和木材(株)集成材工場の本格稼働等、膨大な消費量の供給に対していよいよ木産協の存在意義が問われております。組合員の皆様方と一致協力して共同出荷に取り組んでいく所存であります。



昨年、皆様のおかげを持ちまして森林・林業功労者として県知事より感謝状を賜りました。大変失礼ながら紙上にてお礼申し上げます。本年は成年。前向きに地道に努力を重ねることが出来るか否かで運気が大きく変わるようです。組合員の皆様のご協力のもと本年も微力ながら精一杯責務を果たしていく所存であります。よろしく申し上げます。

結びに、組合員の皆様の益々のご繁栄とご多幸を祈念し、新年の挨拶といたします。

4 再造林推進機構スタート! 第1回幹事会開催

12月25日(月)山形市の山形県森林組合連合会2F会議室において、山形県再造林推進機構第1回幹事会が開催されました。木産協からは鈴木専務理事が出席し、実質的な議論が始まりました。県土の保全等の公益的機能を維持するため、再造林推進は喫緊の課題です。

これまで、再造林推進会議(5/17、9/6、11/17)や再造林推進ワーキンググループ会議(6/16、8/23、10/23)、先行県調査(7/10岩手県、7/27-28愛媛県・岡山県)等多くの会合等で議論を深め、設立意義や基本方針等について当組合を含めた業界全体の賛同を得たところです。

今後承認された幹事会等で具体的な仕組み等について3月の理事会までじっくり議論し、H30年4月からの再造林助成支援に向かう計画であります。支援の内容については、本推進機構で基金を造成し、再造林経費(1ha当たり概算で約百万円)の一部(10%)を支援するものです。内訳は国庫補助事業が68%、県費補助が22%、再造林推進機構が10%の支援となる見込みであります。基金合計額は、今後見込まれる再造林面積200~300haを想定し、約2千万~3千万円を見込んでいます。木産協の概算イメージとしては、年間約5万m³の生産とすれば、協力金を仮に20円/m³とすると素材生産部門で100万円、製材部門で100万円の計200万円の協力金となる試算です。自社で年間〇m³素材を生産・購入しているかで金額が決まる仕組みであります。なお、対象原木は山形県産針葉樹に限っており、広葉樹、他県産材、外材は対象外です。協力金については、各企業が推進機構と協定を結び、4半期ごとに素材の生産量や購入量分を協力金として納めていく仕組みになる見込みです。

当組合としては、木産協だよりや地区理事会等の機会があるごとに組合員皆様に丁寧に説明してまいります。不明な点等あればいつでも事務局にお問い合わせください。

5 森林環境税創設 !! 運用開始は平成31年度

12月14日(木)にまとまった2018年度与党税制改正大綱に、森林環境税及び森林環境譲与税の創設が盛り込まれました。新税は個人住民税均等割に上乘せする形で、一人当たり年千円、計620億円程度が集められ、徴収開始は5年後からで、森林整備の安定財源が生まれることになりました。市町村支援の予算であり、平成31年度から将来の税収を先取りする形で分配していきます。また、最後まで検討事項となっていた都道府県への譲与は、市町村を支援するための費用として分配されることとなりました。この税は、現在東日本大震災の防災施設対応分であり、この期間終了後に同じ金額を森林環境税として徴収するものです。

集められた税収は、森林環境譲与税として主に市町村に配分されます。配分額は、各市町村の私有林人工林面積と林業就業者数、人口を指標とした譲与基準により決められます。その仕組みとして、林野庁では「新たな森林管理システム」を作成しました。これは、森林管理意欲のない森林所有者から市町村が管理委託又は寄付を受け、素材生産面で条件の良い林地は事業体に施業を委託し、条件の悪いところは森林環境税で間伐等の手入れを行うという内容です。

しかしながら課題も多く、来年度は同システムの実施に必要な法改正を通常国会に諮り、2年後の運用に備える必要があります。さらに、実施主体となる市町村林務担当職員と施業現場両方の人手不足の対策も急務です。果たして、分配された新税を適正に運用し、委託された森林の管理を円滑に進められるかが本県においても懸念されています。

また、本県「やまがた緑環境税」と同様の県税が国内約8割の地方公共団体で実施されています。これは、管理放棄された要整備林分等の森林健全化として計画的に利用されていることから重複はしないものの、県民に対し分かり易い説明は必要であろうと考えています。県みどり自然課でも、国の仕組みや方針が固まった時点で対策を考えたいとしています。



6 「県産スギ積み木」プレゼント !!



県では、「やまがた森林ノミクス」推進の一環として、県産木材の活用を推進する「しあわせウッド運動」を展開しています。その第1弾として「ウッドスタート」幼児期から木に親しむ運動として「県産スギ積み木」を県内の幼稚園や認定こども園等にプレゼントする事業が始まりました。

これは、木産協が県林業振興課から設計・施工・配布等の委託を受け、製材工場から県産材を提供し、障害者支援施設で積み木に加工したものを県内(H29は村山・最上地域)の幼稚園や認定こども園60か所に贈呈するものです。

来年度までに庄内・置賜地域を含めた113施設に贈呈されます。

12月12日(火)に山形市本町にある「さゆり幼稚園」(高橋栄美子園長)でキックオフセレモニーとして吉村美栄子知事による贈呈式が行われました。知事が「いっぱい元気に遊んでください。」と挨拶すると、お返しに園児らは歌を披露し、さっそく積み木で遊び、高く積み上げたり、家の形を作ったりして楽しんでいました。

7 県立農林大学校の卒業論文発表会開催 !!

12月19日(火)、県立農林大学校(石川一夫校長)林業経営学科1期生15名が初めての卒業論文発表会に臨んだ。

一人10分の持ち時間で報告した。主な課題名では、

「最上管内における用途別出材割合に関する基礎調査」

「林床にササが優先する里山広葉樹林の更新技術の検討」

「高性能林業機械を使った利用間伐に関する基礎調査」

「高性能林業機械を使用した効果的な作業システムの検証」

「スギ材の有効活用をめざしたきのこ栽培技術の調査」

「最上管内におけるツキノワグマによるスギ剥皮被害の調査」等である。成績優秀者は、1月に北海道で開催される「東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会」に参加する。



8 農林水産省から木材統計調査基礎調査のお願い!!



農林水産省では、全国の木材工場(製材、木材チップ、合単板、LVL、集成材及びCLT)を対象に、12月31日現在で「木材統計調査基礎調査(毎年調査)」を実施いたします。(調査工場は無作為に抽出しております。)

この調査は、木材の需給対策等の諸施策の推進に不可欠な統計調査で、調査で知り得た情報は統計法により保護されています。

調査は郵送又は農林水産省が任命した調査員により実施されますので調査に該当されました際は、御多忙のところ誠に恐縮ではありますが、御協力をいただきますようお願いいたします。

調査対象となられた工場には1月早々に調査を依頼するハガキが事前に送付されます。ハガキを受けた貴組合員の方々は調査への御協力をお願いします。

9 平成29年度補正予算・平成30年度当初予算の概要 !!

12月22日(金)補正予算とH30当初予算の概要が固まった。木産協関連目玉予算は次のとおりである。今後、県林業振興課や各総合支庁森林整備課の情報をお待ちください。

①H29補正事業(木材産業課)「木材製品の消費拡大対策」11億3,300万円 これまで木材利用が低位であった非住宅分野を中心とする建築物において、JASの格付実績の低い構造材(無垢製材、CLT)を積極的に利用する普及・実証の取組みに対し支援するもの。具体的にはJAS構造材活用拡大宣言を行った事業者に対し、JAS材利用拡大が期待できる建築を実証的に行う場合、JAS構造材の調達費の一部を助成するもの。

②H30当初事業(木材産業課)「木材産業・木造建築活性化対策」10億8,700万円

新たな木材需要を創出するため、非住宅分野を中心としたJAS構造材の利用拡大、顔の見える木材での快適空間づくり、民間部門における公共建築物の木造化・木質化に向けた普及促進、地域内で森林資源のエネルギー利用等を進める「地域内エコシステム」の構築に向けたモデル的な取り組みなどを支援するもの。詳細は分かり次第皆様にお知らせします。具体的には、

- ・非住宅分野を中心とした無垢構造材等利用拡大事業
- ・CLT等新たな木質建築部材利用促進・定着事業
- ・顔の見える木材での快適空間づくり事業
- ・新たな生産・加工・流通体制づくり推進対策事業
- ・民間部門主導の木造公共建築物等整備推進事業
- ・「地域内エコシステム」構築事業
- ・「クリーンウッド」普及促進事業



10 平成30年1月・2月の行事予定

H30.1.4	御用始め	
1.11	挨拶廻り(県庁、市役所、県森連、みどり推進機構等)	理事長・三役
1.18	新春林政講演会 山形市パレスグランデール	會田・松田
1.19	素材生産部会意見交換会 山形市内	理事長・遠田
1.26	三役会議 酒田市内	理事長・三役
1.30	クリーンウッド法認定団体研修会 東京 木材会館	鈴木専務
2.5	木造建築フォーラム 山形市ホテルメトロポリタン	
2.8	森林の仕事ガイダンス in やまがた ビッグウイング	松田・相田・鈴木
2.16-	木と木造住宅の大博覧会 東京 ビッグサイト	會田・相田・鈴木

11 日本百名山シリーズ紹介(楽々百名山)

誰でも気軽に3,000mの山頂に！(乗鞍岳3,026m、立山3,015m)お薦めは7月下旬。初心者向けコースですが、登山靴、帽子、雨具、防寒着、水分補給は必須条件です。



バスで乗鞍スカイライン豊平(2,702m)へ。約90分で剣ヶ峰山頂に到達。お花畑も綺麗です。



バスで黒部アルペンルート経由、室堂平(2,450m)へ。約2時間で雄山山頂に到達。散策路も多彩。

やまがたの木を利用する

平成
29
年度

木造建築 フォーラム

参加者
募集

フォーラムの内容 地域経済を支えるやまがたの木を利用し、良質な木造建築の供給にかかわる関係業界に働く、製材・建築設計技術者・建築大工等を対象に、流通材とプレカットを活用して、木造建築物を实践し、持続可能な社会の構築に貢献する県産木材の可能性を探ります。

第1部 中大規模木造セミナー
「住宅用流通材とプレカットを用いて
経済的な中大規模木造建築を地域でつくる」

講師 東京大学大学院
農学生命科学研究科教授 **稲山正弘** 氏
(ホルツストラー級建築士事務所主宰・(一社)中大規模木造プレカット技術協会代表理事)

第2部 質疑応答
主回答者 **稲山正弘** 氏
副回答者 山形県農林水産部林業振興課
副回答者 山形県県土整備部建築住宅課

◇会場/「ホテルメトロポリタン山形」
山形市香澄町1丁目1番1号
◇日時/平成30年2月5日(月) 13:00~17:15
◇主催/やまがた県産木材利用センター
◇共催/山形県・一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会
◇参加費/講演資料代等として、一人2,000円の負担をお願いします。
事前の参加申込みが必要となります(締切1月22日(月))。
先着100名とさせていただきます。

問い合わせ
申込み先 **やまがた県産木材利用センター**
〒990-2473 山形市松栄一丁目5番41号
TEL 023-674-7672・FAX 023-646-8699



写真：東京大学弥生講堂アネックス (稲山正弘氏 構造設計)

緑の雇用事業 森林の仕事ガイダンス in やまがた



森林組合、林業会社や木材加工会社の方が林業の仕事内容や職場環境、各地の森林整備に関する情報や就業について、直接ご質問・相談にお応えします。
また、林業に関する展示ブースも設けています。
林業等に就業や転職、興味をお持ちの方は、ご都合の良い時間にお気軽に参加ください。(参加企業は下記のセンターHPに掲載します。)

入場無料

申込不要

入退場自由

2018年2月8日(木) 11:00~15:00

山形ビッグウイング 2F交流サロン

主催 (公財) 山形県みどり推進機構
共催 山形県、山形県森林協会、山形県森林
組合連合会、山形県木材産業協同組合

お問合せ
山形県林業労働力確保支援センター 高橋、新野

山形県山形市大字長谷堂字馬場2265

023-688-6633 <http://www.ymidori.or.jp>



無料駐車場ありです

12 11月期の住宅着工状況

平成29年11月期の県内新設住宅着工戸数は456戸となり、対前月比84.9%、対前年同月比88.5%、前年累計比97.1%となった。地域別では山形市・天童市・米沢市・鶴岡市・酒田市の好調が続いている。今月は、利用関係別で持家と木造率が伸びている。

1 県内新設住宅着工戸数(平成29年11月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
11月	515	256	173	0	86	509	6	414	80.4%	298	9	107
28.1~11	5,211	2,830	1,737	14	630	5,137	74	4,478	85.9%	3,088	102	1,288
12月	464	216	193	2	53	455	9	397	85.6%	282	7	108
29.1月	243	144	69	1	29	243	0	207	85.2%	164	4	39
2月	282	164	74	1	43	279	3	257	91.1%	153	8	96
3月	310	193	61	13	43	308	2	275	88.7%	210	8	57
4月	566	277	169	0	120	564	2	471	83.2%	331	13	127
5月	348	249	36	25	38	345	3	321	92.2%	267	1	53
6月	647	320	266	0	61	637	10	520	80.4%	325	8	187
7月	528	322	152	3	51	527	1	489	92.6%	371	12	106
8月	561	284	225	1	51	548	13	483	86.1%	358	13	112
9月	581	299	216	1	65	579	2	465	80.0%	330	6	129
10月	537	236	246	2	53	535	2	394	73.4%	279	8	107
11月	456	261	151	2	42	453	3	387	84.9%	310	9	68
対前月比	84.9%	110.6%	61.4%	100.0%	79.2%	84.7%	150.0%	98.2%	-	111.1%	112.5%	63.6%
対前年同月比	88.5%	102.0%	87.3%	-	48.8%	89.0%	50.0%	93.5%	-	104.0%	100.0%	63.6%
28.1~当月計	5,211	2,830	1,737	14	630	5,137	74	4,478	85.9%	3,088	102	1,288
29.1~当月計	5,059	2,749	1,665	49	596	5,018	41	4,269	84.4%	3,098	90	1,081
対累計前年比	97.1%	97.1%	95.9%	350.0%	94.6%	97.7%	55.4%	95.3%	-	100.3%	88.2%	83.9%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成29年11月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計	市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	456	5,059	88.5%	97.1%	4,269	大蔵村	0	4	-	200.0%	4
山形市	128	1,339	66.7%	100.9%	1,013	鮭川村	0	10	-	125.0%	10
上山市	8	96	266.7%	99.0%	94	戸沢村	1	5	-	166.7%	4
天童市	54	465	192.9%	127.7%	387	最上地域	15	169	93.8%	67.9%	161
山辺町	4	51	133.3%	67.1%	49	米沢市	40	516	85.1%	112.2%	352
中山町	4	40	200.0%	88.9%	40	南陽市	9	185	31.0%	108.2%	170
東南村山	198	1,991	86.8%	104.3%	1,583	高島町	10	61	166.7%	61.0%	60
寒河江市	16	253	64.0%	103.3%	202	川西町	1	28	6.3%	45.2%	27
河北町	5	58	100.0%	63.0%	55	東南置賜	60	790	61.2%	99.6%	609
西川町	0	9	-	225.0%	9	長井市	15	114	187.5%	122.6%	111
朝日町	0	3	-	37.5%	3	小国町	0	21	0.0%	210.0%	9
大江町	2	24	66.7%	104.3%	23	白鷹町	1	27	50.0%	75.0%	26
西村山郡	23	347	69.7%	93.3%	292	飯豊町	2	11	66.7%	64.7%	11
村山市	2	53	28.6%	76.8%	50	西置賜	18	173	128.6%	110.9%	157
東根市	20	426	54.1%	94.9%	412	置賜地域	78	963	69.6%	101.5%	766
尾花沢市	1	55	50.0%	137.5%	55	鶴岡市	70	497	194.4%	83.1%	434
大石田町	0	25	0.0%	312.5%	23	三川町	2	24	-	77.4%	23
北村山	23	559	48.9%	98.8%	540	庄内町	6	43	600.0%	69.4%	42
村山地域	244	2,897	79.2%	101.8%	2,415	田川	78	564	210.8%	81.6%	499
新庄市	10	108	66.7%	61.0%	103	酒田市	38	446	95.0%	97.0%	411
金山町	4	7	-	700.0%	7	遊佐町	3	20	150.0%	133.3%	17
最上町	0	15	0.0%	39.5%	13	飽海	41	466	97.6%	98.1%	428
舟形町	0	7	-	233.3%	7	庄内地域	119	1,030	150.6%	88.3%	927
真室川町	0	13	-	76.5%	13						

注:累計は平成29年1月~

